

**ISM STAR-E 2025 年度研究集会 プログラム**

日程：2026年3月16日、17日

場所：統計数理研究所 セミナー室1

**3月16日**

**13:20 ~ 13:50 尾形良彦（統計数理研究所 特任教授）**

大地震の短期から長期にわたる時空間予測の展望 — 中期予測をどう考えるか？ —

Outlook for Short- to Long-Term Spatiotemporal Forecasting of Large Earthquakes: What About Intermediate-Term Forecasting?

**13:50 ~ 14:10 山田真澄（京都大学防災研究所 准教授）**

ETAS を活用した緊急地震速報の震源決定

**14:10 ~ 14:30 楠城一嘉（静岡県立大学 特任教授）**

地震活動の予測システムの構築に向けて：静岡県立大学の研究

Toward developing a seismicity forecasting system: Research at University of Shizuoka

**14:30 ~ 14:50 矢野恵佑（統計数理研究所 准教授）**

ベイズ感度解析による緊急地震速報における観測点選択

休憩

**15:10 ~ 15:30 上田拓（防災科学技術研究所）**

日本でのリアルタイム余震予測におけるGR則のb値の推定手法の比較  
(上田拓、久保久彦、汐見勝彦)

**15:30 ~ 15:50 三井雄太（静岡大学 准教授）**

HIST-ETAS モデルと GNSS データに基づくトンガ海溝非定常変位イベントの解釈

**15:50 ~ 16:10 澤崎郁（防災科学技術研究所 主任専門研究員）**

大地震直後からの余震による高周波エネルギー輻射量推移の過去統計

**16:10 ~ 16:30 WU STEPHEN（統計数理研究所 准教授）**

Modeling Seismic Intensity Envelopes for Earthquake Early Warning Applications

**16:30 ~ 16:50 ディスカッション**

## ISM STAR-E 2025 年度研究集会 プログラム

日程：2026年3月16日、17日

場所：統計数理研究所 セミナー室1

### 3月17日

#### 9:00 ~ 9:20 熊澤貴雄（統計数理研究所 特任准教授）

非定常 ETAS モデルによる地震活動理解：仮定・推定・解釈上の注意

Interpreting Seismicity with the Nonstationary ETAS Model: Assumptions, Estimation, and Caveats

#### 9:20 ~ 9:40 Isaias Manuel Ramírez Bañales（イサイアス バニャレス）（京都大学）

Estimating Inhomogeneous Spatio-Temporal Background Intensity Functions using Graphical Dirichlet Processes

#### 9:40 ~ 10:00 西川友章（京都大学防災研究所 准教授）

Foreshock Acceleration Linked to Slow Earthquakes Before a Large Earthquake: Implications for Two-Stage Aseismic Processes

#### 10:00 ~ 10:20 溜淵 功史（気象庁 地震火山部 地震火山技術・調査課 調査官）

最近の一元化地震カタログの紹介

休憩

#### 10:40 ~ 11:00 牛源源（統計数理研究所）

Development and Applications of the Spatiotemporal GP-ETAS Model

#### 11:00 ~ 11:20 岩田貴樹（県立広島大学 准教授）

ETAS モデルと摩擦構成則地震活動モデルの混合モデルの時空間への拡張

#### 11:20 ~ 11:50 庄建倉（統計数理研究所 教授）

長期から即時に至る時空間地震予測とモニタリング：成果と展望

Spatiotemporal Earthquake Forecasting and Monitoring from Long-Term to Immediate Timescales: Results and Perspectives

#### 11:50 ~ 12:10 ディスカッション